県内の少年非行（令和5年1月末）

兵庫県警察本部少年課

注：数値は、令和4年は確定値、令和5年は暫定値である。

1　県内の非行少年等の概況

令和5年1月末、県内で検挙・補導した非行少年（犯罪少年、触法少年及びぐ犯少年の総称）は162人で前年同期（95人）に比べて67人（70.5%）増加している。

不良行為少年は817人で、前年同期（800人）に比べて17人（2.1%）増加している。

区分＼年別			令和5年1月末	令和4年1月末	増減 人員	増減 率（%）
非行少年	刑法犯	犯罪少年	67	47	20	42.6
		触法少年	67	29	38	131.0
		計	134	76	58	76.3
	特別法犯	犯罪少年	5	11	-6	-54.5
		触法少年	9	1	8	800.0
		計	14	12	2	16.7
	ぐ犯少年		14	7	7	100.0
	合計		162	95	67	70.5
不良行為少年			817	800	17	2.1

2　刑法犯少年包括罪種別の状況

区分＼年別	令和5年1月末	構成比（%）	令和4年1月末	構成比（%）	増減 人員	増減 率（%）
刑法犯少年	134	100	76	100	58	76.3
凶悪犯	1	0.7	1	1.3		
粗暴犯	27	20.1	19	25.0	8	42.1
窃盗犯	61	45.5	36	47.4	25	69.4
知能犯	4	3.0	3	3.9	1	33.3
風俗犯	4	3.0	3	3.9	1	33.3
その他	37	27.6	14	18.4	23	164.3
うち占離	4	3.0	3	3.9	1	33.3

3　刑法犯少年学職別の状況

区分＼年別	令和5年1月末	構成比（%）	令和4年1月末	構成比（%）	増減 人員	増減 率（%）
総数	134	100	76	100	58	76.3
未就学						
小学生	24	17.9	15	19.7	9	60.0
中学生	56	41.8	23	30.3	33	143.5
高校生	35	26.1	26	34.2	9	34.6
その他学生	4	3.0	2	2.6	2	100.0
有職	10	7.5	7	9.2	3	42.9
無職	5	3.7	3	3.9	2	66.7

4　初発型非行の状況

区分＼年別	令和5年1月末	構成比（%）	令和4年1月末	構成比（%）	増減 人員	増減 率（%）
総数	54	100	35	100	19	54.3
万引き	32	59.3	24	68.6	8	33.3
オートバイ盗	2	3.7			2	
自転車盗	16	29.6	8	22.9	8	100.0
占有離脱物横領	4	7.4	3	8.6	1	33.3
刑法犯少年に占める率（%）	40.3	―	46.1	―	-5.8 ポイント	

※　少年非行のその他の特徴

○　全刑法犯検挙・補導人員の18.2パーセント（前年同期比＋7.1ポイント）を少年が占めている。

○　刑法犯少年のうち窃盗犯が最も多く、全体の45.5パーセントを占め、次いで粗暴犯の20.1パーセントとなっている。

○　不良行為少年では、喫煙（522人）と深夜はいかい（199人）が全体の88.2パーセントを占めている。